

総会議事録

1. 総会の種類 令和3年度通常総会
2. 招集年月日 令和3年4月26日
3. 開催日時 令和3年5月27日(木)午後2時00分
4. 開催場所 仙台市青葉区中央4-6-1
『仙台国際ホテル』
5. 理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその方法
理事の数 11名 内出席理事 11名(議場に出席)
監事の数 2名 内出席監事 2名(議場に出席)
6. 組合員総数 64名
7. 出席組合員数 63名(内訳:本人出席40名、委任状出席18名、
書面出席5名、欠席0名)
8. 出席理事の氏名
高橋一則、柳 漢成、桜井 真、杉本信夫、永山恵治、田代史孝
山内清司、伊藤樹里、橘 明、田苗幸治、柏木信耶
9. 出席監事の氏名 門田祐也、柳 成浩
10. 議長の氏名 佐々木斉
11. 議事録作成に係る職務を行った理事の氏名 山内清司
12. 総会開催及び議長の選任

定刻、事務局次長・堤友巳の司会により、来賓の紹介及び新組合職員の紹介後、柳副理事長が開会を宣言し、続いて杉本専務理事より出席組合員数の報告があり、本通常総会は法定数を満たし適法に成立する旨を告げた。

次に、高橋理事長が開会の挨拶を行う。

次に、司会者が議長選任方法を諮ったところ、司会者一任の会場同意により、司会者は議長に(有)日成仙台販売の佐々木斉氏、副議長に(有)仙南遊機の渡邊寛孝を指名し満場一致をもって選任され、二氏は早速議長席に着き、議案の審議に入る。

13. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果

第1号議案 令和2年度事業報告書並びに財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案承認の件

議長、第1号議案を上程し、理事柏木信耶氏より説明させた後、議案審議に先立ち、監事の監査報告を求めたところ、監事柳成浩氏より中小企業等協同組合法第40条第5項に基づき、令和3年4月12日、令和2年度財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案の各項目について監査したところ、その内容は適正なものと認める旨の監査報告がなされた。

続いて議長、「議案」の説明と「監査結果」の報告について議場に諮ったところ、次のとおり挙手質疑・応答がなされた。

(株関実・菅野氏)

まず、今月をもって退任する千葉前事務局長に対し、令和2年度中のコロナ関係補助金収入手続きへの慰労と感謝の意を表したい。

それでは、高橋理事長の第1号議案に関しての実績等はどのようなものか伺いたい。

(高橋理事長)

実績評価に関しましては、自分では分かりませんが、モットーとしてきた点を申し上げますと、一つは、どなたが理事・監事・執行部をやっても円滑に組合業務に当たれるような人材育成と、それを受け入れる組織体制を整えること、二つ目は、組合の在り方として、資金を潤沢に持って運営する「大きな政府」的なものと、「資産」や「資金」を手元に残さずに還元していくという「小さな政府」的な運営を考えた場合、なるべく「小さな政府」的な考えで取り組んできたことでもあります。ただ、万が一のとき（不法投棄事案や訴訟対応等があった場合）の備えが十分ではない点が危惧されるところであります。

(株関実・菅野氏)

組合の財産について、税理士事務所にお伺いしたいが、組合として、これだけの資金を保有している必要があるのか、また、納税額と組合員への還元状況について伺いたい。

(吉田税理士)

まず、納税額については、例年、部会活動等の際の交際費等が損益に入れなくなり、高い税率が適用されておりましたが、昨年度は、交際費等が減少したことにより、一般的な通常の税率が適用されているものであります。

組合員への還元については、コロナ対策給付金や地震被害支援給付金等などの還元を行った結果の利益額であります。

また、流動資産等については、ある程度の備えは必要であり、議案程度の額は必要と考えています。

(株関実・菅野氏)

議案の採決について、当総会では「賛成」か、「反対」しかないが、どちらでもない組合員もいるはずであるから、「棄権」についても必要と考えるが、理事長の考えを伺いたい。

(高橋理事長)

次回に向けて、検討して行きたいと考えております。

次いで議長、質疑がない事を確認し、議場に採決を諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案どおり可決確定した。

第2号議案 令和3年度事業計画書案並びに収支予算書案決定の件

第3号議案 経費の賦課及び徴収方法決定の件

賦課金の額は、1か月15,000円とし、組合への納入は毎月末日まで、組合口座に振込むものとする。

第4号議案 借入金の最高限度額決定の件

借入金の最高限度額は、30,000,000円とする。

第5号議案 取引金融機関決定の件

- ① 七 十 七 銀 行 仙 台 東 口 支 店
- ② 岩 手 銀 行 仙 台 営 業 部
- ③ 北 日 本 銀 行 南 小 泉 支 店
- ④ 秋 田 銀 行 仙 台 支 店
- ⑤ 山 形 銀 行 仙 台 支 店
- ⑥ 商 工 組 合 中 央 金 庫 仙 台 支 店
- ⑦ 仙 台 銀 行 本 店
- ⑧ 荘 内 銀 行 仙 台 支 店
- ⑨ 青 森 銀 行 仙 台 支 店
- ⑩ 東 邦 銀 行 仙 台 支 店
- ⑪ ゆ う ち ょ 銀 行 仙 台 中 央

第6号議案 出資金、加入金及び保証金額決定の件

- ① 新規加入希望者の出資金は1口100,000円とする。
- ② 新規加入希望者の加入金は 1,506,300円とする。
- ③ 新規加入希望者の保証金は 2,000,000円とする。
(推薦者の保証金はそれぞれ 1,500,000円とする。)

第7号議案 脱退者に対する配当額の決定の件

当組合定款第14条により、次のとおりとする。

(100円未満切捨て)

A 出資金 (1口)	100,000円
法定利益準備金 (8,944,009円÷66人)	135,500円
別途積立金 (62,681,550円÷66人)	949,700円

特別積立金	(15,936,559 円 ÷ 66 人)	241,400 円
災害対策積立金	(6,257,900 円 ÷ 66 人)	94,800 円
繰越損益金	(107,384 円 ÷ 66 人)	1,600 円
計		1,423,000 円
B	当期留保金額(5,500,000 円 ÷ 66 人)	83,000 円
C	持分調整金	
	B + C =	1,506,300 円(加入金)
D	持分払戻額	
	A + D =	1,606,300 円

第 8 号議案 役員報酬決定の件

定款第 33 条「役員に対する報酬は理事と監事を区分して総会において定める」を受けて、

理事報酬 (12 人) 年額 4,800,000 円 以内

監事報酬 (2 人) 年額 400,000 円 以内

とする。ただし、各役員に対する配分については、理事会において決定する。

第 9 号議案 身分証明書等取扱規約の一部改正の件

議長、上記第 2 号から第 9 号議案までを一括上程し、理事田苗幸治氏より説明させた後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案どおり可決確定した。

第 10 号議案 役員選挙の件

議長は、定款第 26 条により当組合の役員全員は、本総会終結と同時に任期満了することとなるので、その改選の必要がある旨を述べた。

次いで、高橋選挙管理委員長より、役員選挙の公告をし、立候補者の受付を行った結果、理事・監事ともに定款第 25 条による役員定数と立候補届出数が同数であったため、定款第 32 条第 4 項により、下記の立候補者が当選人となった旨の報告がなされた。

これを受け議長は、下記立候補者が当選確定した旨を宣した。

記

I 宮城県仙台市

① 理 事 中嶋 環

宮城県仙台市

② 理 事 兒玉 直樹

宮城県仙台市

③ 理 事 伊藤 樹里

岩手県北上市

④ 理 事 柏木 信耶

宮城県仙台市

⑤ 理 事 柳 漢成

宮城県仙台市

⑥ 理 事 永山 恵治

青森県平川市

⑦ 理 事 山内 清司

宮城県仙台市

⑧ 理 事 桜井 真

宮城県石巻市

⑨ 理 事 高橋 一 則

福島県会津若松市

⑩ 理 事 柳 成浩

山形県酒田市

⑪ 理 事 田苗 幸治

福島県郡山市

⑫ 理 事 杉本 信夫

II 宮城県仙台市

① 監 事 門田 祐也

福島県会津若松市

② 監 事 柳 成徳

なお、当選者はいずれも席上、その就任を承諾した。

議長、これをもって本通常総会の議事を全部終了したので、午後 3 時 10 分、閉会を宣す。

本日の、本通常総会の議事を明確にするため、本議事録を作成する。

令和 3 年 5 月 27 日

議事録作成者 理 事 山 内 清 司

